

第3回学校運営協議会議事録

校名	大阪府立市岡高等学校
校長名	岸野 圭吾

開催日時	令和2年2月14日（金）16:00～
開催場所	大阪府立市岡高等学校 2階 校長室
出席者（委員）	深野康久会長、尾形聡委員、川口利子委員、柳川直紀委員
出席者（学校）	岸野圭吾校長、島和広教頭、福井勝事務長、青木一規首席、住吉稔首席、梅田立教諭、近藤晃弘教諭、江原祥太教諭、関本祐希教諭
協議資料	・学校教育自己診断アンケート結果（生徒用・保護者用・教員用） ・平成31年度学校経営計画及び学校評価（案） ・令和2年度経営計画の作成に当たって（校長） ・令和2年度学校経営計画及び学校評価（案）
議題等	
1）確認・報告事項 今年度で任期満了の委員の方々への来年度以降継続の依頼 2）協議 ①平成31年度 学校教育自己診断について ②平成31年度 学校経営計画及び学校評価（案）について ③令和2年度 学校経営計画及び学校評価（案）について	
協議内容・承認事項等（意見の概要）	
①平成31年度 学校教育自己診断について ・今年度は HP 上のアンケートシステムを用いて実施した。集計、分析が効率よく実施できたと考えられる。 ・保護者が回答しづらい項目（地域交流やボランティア活動など）があるが、「文化祭での献血」も含まれる、など具体的な活動内容を入れると生徒たちの気づきにもつながる。 ・1年生は「よくあてはまる」と回答した数は2,3年生に比べて高い数値であった。 ・教員用アンケートの肯定的な回答は昨年度に比べて10%程度高い結果になっている。 ②平成31年度 学校経営計画及び学校評価（案）について ・英語を「話す力」の習得への意識の向上に関するアンケートでは肯定的回答率は目標数値60%を超えている。「来年度も今年度同様の試験（GTEC）を受けたいか」という質問に対して1,2年生とも約40%の生徒が「受けたい」と回答した。今後検討すべき点である。 ・授業外学習時間は来年度の数値目標の項目は削除する。数値化はしないが、授業外学習時間の確保や自学自習の習慣化は今後も継続する。自学自習合宿は今年度約50名が参加して、有効感100%の結果だった。来年度の参加者目標も計画の一つに入れるのもよい。 ・部活動加入率が減少傾向、学校として部活動に加入させる働きかけが必要。 ・平成31年度の学校評価について承認いただいた。	

③令和２年度 学校経営計画及び学校評価（案）について

- ・今年度の学校経営計画及び学校評価から大きく３点変更。

１：めざす学校像を変更した。「中核人材（今年度）」→「AI 時代を生き抜く人材（来年度）」
AI という言葉に負のイメージを持つこともある。デジタル時代という言葉もよい表現だろう。

２：細かく記入していた文章、言葉を削除した。

３：成果指標（数値目標等）を見直した。

勤務時間だけではなく、学校全体の業務のあり方や問題点、職場環境の改善に力を入れていく。

「志願倍率 1.1-1.2 倍」の項目を追加した。

- ・令和２年度の学校経営計画について承認いただいた。

④その他

- ・安全で安心な学校をつくるために感染症対策（新型コロナウイルスなど）が必要になるだろう。学校として何らかの対策が求められることを想定しておくべきである。